



▶青森県むつ市

# ジオパークの推進と みまもりサービスでまちを元気に

下北半島が有する自然遺産、文化遺産の重要性を見つめ直し、教育や観光促進に活用する「下北ジオパーク」の取組をさらに推進していくため、むつ市では周知広報活動や市内小学校での体験学習等に必要なる費用をふるさと納税で募集しています。取組を通じて「下北」の魅力を全国に発信することで、交流人口を増加させ、地域発展を目指します。

また、むつ市では、市内の一人暮らし高齢者が増加していることを踏まえ、日本郵便株式会社と連携し

「みまもり訪問サービス」を寄附者に対して提供しています。郵便局社員などがふるさとで暮らす高齢者を月1回程度訪問し、高齢者の体調や食事の状況、日常生活の支障など10項目について、寄附者に定期的にお知らせする仕組みです。



下北半島 脇野沢



みまもり訪問サービスによる自宅訪問

注力した点や工夫した点

新たに導入することとした「みまもり訪問サービス」を広く周知するため、市のウェブサイトや広報紙に掲載し、市内外に向けて積極的に情報発信しています。

Check

## 取組の効果

「下北ジオパーク」の推進については、学習・研究・活動発表会を5市町村など関係団体合同で開催し、児童が各地の見所や地域の歴史・文化との関わりについての学習成果を披露するなど、具体的な活動が広がっています。

「みまもり訪問サービス」については、ふるさと納税をきっかけとして、離れて暮らす家族と高齢者をつなげる効果が期待されています。市で

は、こうしたつながりを発展させ、高齢者が暮らす地域への関心を高めていただけるよう取り組んでいきます。



下北ジオパークの魅力を伝える重要なガイドの養成講座



下北郡内の児童生徒による地域学習等の発表会

寄附者の声



・「みまもり訪問サービス」の様な取組が登場するのを待っていました。

住民の声



・ふるさと納税を活用して学校にジオパーク関連の図書を購入していただきました。児童にそのことを紹介すると、今まで以上に図書に興味を持つようになりました。